

遠い雲 (1955)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 99分

初公開日 1955/08/31

【解説】

木下恵介が松山善三と共同で執筆した脚本を監督。飛騨高山で繰り広げられる大人の恋愛模様を描く。二人の男から愛されるヒロインを高峰秀子が見事に演じ上げている。

東京で林野庁に勤める石津圭三は、休暇を取って飛騨高山に帰省した。圭三には冬子という恋人がいたが、彼女は家のために市会議員の息子と結婚し、夫を亡くした後は夫の実家で一人娘と暮らしていた。夫であった寺田敏彦の命日に、圭三と冬子は再会する。久々の再会に圭三の心は揺れる。敏彦の弟である俊介は、冬子と結婚したいと父親に伝え、金沢出張に出発した。圭三は木下と名乗る男から、冬子との間を暴露すると脅迫される。冬子もまた、北村から圭三との仲を敏彦の両親に暴露されていた。

【クレジット】

監督 木下恵介

製作 久保光三

脚本 木下恵介

松山善三

撮影 楠田浩之

美術 平高主計

音楽 木下忠司

出演 高峰秀子

佐田啓二

高橋貞二

田村高広

石浜朗

小林トシ子

中川弘子